

弘前大学大学院地域社会研究科博士後期課程1年の孫曉儀さん(27)＝中国山東省出身＝は、コーヒーを画材にした絵画に取り組んでいる。コーヒーは、水彩画のような淡い色合いから艶

のある漆黒まで幅広く表現できるという、孫さんは「珈琲の街・弘前」で見つけたお気に入りの風景などを描いている。13日からは、弘前大学文京町キャンパス内にある弘大カフェ成田専蔵珈琲店で絵画展を開く。
(西尾瑛)

表現多彩コーヒー絵画

中国出身・弘大大学院生孫さん

作品展示「色合い楽しんで」



コーヒーを使った絵画に取り組む孫さん

孫さんは、幼少期から絵に
取り組み、中国の広西大
学美術学校では油絵を専攻
していた。デザインにも興
味があり2020年、弘前
大に留学。翌21年には同

大学院地域共創科学研究科に入学し、修了後は現課程で学びを続けていく。
コーヒー絵画は、担当教員に進められて今春から取り組み始めた。「最初は難しかった」というが、インスタントコーヒーや、コーヒー豆をひいたものなどを使い、水で色合いを調整したり、厚みを出して描いたりすることで幅広い表現ができるようになった。
弘前で暮らし始めて4年目の孫さん。展示では、弘前で出合った弘前公園から見た桜と岩木山などの風景、木箱で買って毎日食べるほど大好きなリンゴ、美しい花々など11点を展示する予定だ。

孫さんは「コーヒーは水彩や油絵とはまた違った表現ができるので面白い。何よりもいい香り」と笑う。「展示できるなんてうれし

いしくわくする。(機会をもらって)感謝している。ぜひコーヒーを飲みながら絵を楽しんでほしい」と話した。
展示は24日まで。弘大カフェは月曜日定休で、営業時間は午前10時～午後6時。